

この後記を執筆している 2011 年 12 月 12 日に、今年の漢字が発表されました。2011 年の漢字は「絆」でした。2011 年 3 月 11 日以降、わたくしたちは日常の平凡さがどれだけ大切な、家族や友人たちの「絆」がどれだけ重要か、さまざまな思いを抱いてきました。どのような慟哭であっても、その喪失に向き合う痛切には及ばないのだと感じます…。

本特集は「慢性疼痛への包括的アプローチ」です。大道論文に示されているように、「痛みは主観的なものであり、これまでの…情動的体験に」修飾され、複雑な病態を持つとされます。このような複雑さへのアプローチが「包括的」の意味するところであり、学際的な「痛みセンター」の重要性が指摘されています。住谷論文では、慢性疼痛のメカニズムに関して、特にその脳内機序の観点から、幻肢痛におけるミラーセラピーの効果が論じられています。ミラーセラピー自体は特別な機器を必要としない臨床的方法なので、大変興味深いものです。櫻井論文では、理学療法士に関連性の高い「筋機能障害」と慢性疼痛の関係について運動時痛による評価アルゴリズムが紹介されています。白井論文では、脳卒中後の中枢痛（central post-stroke pain）と複合性局所疼痛症候群（CRPS）についての、臨床的特徴、評価法と理学療法の具体例が示されています。増田論文ではがん症例における慢性疼痛の問題が論じられています。主要な臓器におけるがん性疼痛の特性が示され、これらに対する理学療法アプローチが紹介されています。相澤論文では、切断症例に認められる慢性疼痛である断端痛と幻肢痛が取り上げられ、様々な誘因についてのわかりやすい解説と理学療法アプローチとして TENS などが紹介されています。いずれの論文も最新の知見に基づき多方面にわたり、慢性疼痛に関してまさに包括的といえる内容になっています。

「講座」では、「加齢に伴う臨床検査値の変化」について詳細に述べられています。冒頭で「高齢者の基準値は存在するのか？」という問題提起がなされ、高齢者独自の基準値を設定することの困難性に言及されています。この続きはぜひ一読を！このほか、「臨床実習サブノート」では著者の安田先生が、学生時代に「頸髄損傷例の寝返り・起き上がり動作獲得の課題を与えられた時に、試行錯誤した」と述べられていることには現在臨床実習に苦勞している学生さんもほっとするのではないのでしょうか。大森論文「訪問リハビリテーション時の状態把握のコツ」では、運動量の把握において、動作の環境としての椅子の高さを記録しておくことが重要である、との指摘はまさに「コツ」といえるものと思います。

深い悲しみは心の痛みをもたらすといわれます。この痛みをすぐに取り去るコツはありそうありませんが、わたくしたちにできることは忘れないこと、憶えていること、そして同じ日本の同じ時間を過ごしたという「絆」という共感覚を持ち続けることなのだと思います。（網本 和）

理学療法ジャーナル

（第 46 巻 第 2 号）

発行 株式会社 医学書院

代表者 金原 優

2012 年 2 月 15 日発行（毎月 1 回 15 日発行）

〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23

定価 1,890 円（本体 1,800 円＋税 5%）

電話 本誌編集室直通 (03) 3817-5704

（担当：阿部・川上・山崎）

〔2012 年 年間購読料（税込み、配送料）
弊社負担〕冊子のみ 20,880 円、冊子＋
電子版/個人 23,880 円、冊子＋電子版/
共有 27,200 円、電子版/個人 20,880 円、
電子版/共有 24,100 円

販売部直通 (03) 3817-5659・5660

広告室直通 (03) 3817-5696

ファクシミリ (03) 3815-7802

振替口座 00170-9-96693 番

印刷所 三 報 社 印 刷 株式会社 (03) 3637-0005

E-mail: ptj@igaku-shoin. co. jp

Web <http://www.igaku-shoin. co. jp/mag/ptj/>

広告申込所 株式会社 医薬広告社 (03) 3814-1971

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2012, Printed in Japan

・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は（株）医学書院が保有しています。

・ 本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

・ JCOPY <（社）出版者著作権管理機構委託出版物>

本誌の無断複写は著作権法上での例外を除き禁じられています。複写される場合は、そのつど事前に（社）出版者著作権管理機構（電話 03-3513-6969、FAX 03-3513-6979、e-mail: info@jcopy.or.jp）の許諾を得てください。

●編集顧問●

安 藤 徳 彦
上 田 敏
大 川 弥 生
高 橋 正 明
奈 良 勲
福 屋 靖 子
（五十音順、以下同じ）

●編集委員●

網 本 和
内 山 靖
金 谷 さとみ
斉 藤 秀 之
高 橋 哲 也
鶴 見 隆 正
永 富 史 子
福 井 勉
横 田 一 彦
吉 尾 雅 春

●編集同人●

伊 藤 俊 一
伊 藤 義 広
伊 橋 光 二
上 田 陽 之
大 場 みゆき
大 峯 三 郎
岡 西 夫
小 塚 直 樹
日 下 隆 一
工 藤 俊 輔
酒 井 桂 太
佐 藤 秀 一
関 屋 昇
高 口 光 子
富 樫 誠 二
富 田 昌 夫
長 澤 弘
長 野 由紀江
中 村 春 基
丹 羽 義 明
濱 出 茂 治
備 田 伸 彦
福 田 恵美子
二 木 淑 子
星 文 彦
前 田 哲 男
牧 田 光 代
丸 山 和 夫
丸 山 仁 司
諸 橋 勇
山 田 英 司
横 山 有 里